



TITLE:

よくある質問と回答（FAQ） 第1回

AUTHOR(S):

CITATION:

よくある質問と回答（FAQ） 第1回. 静脩 2005, 42(1): 17-17

ISSUE DATE:

2005-10

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/37775>

RIGHT:



よくある質問と回答(FAQ)

第1回

附属図書館では利用者の皆様とのコミュニケーションの手段の一つとして、Suggestion Boxを1階雑誌閲覧室掲示板下に設置しました。図書館の運営に皆様の意見を取り入れ、よりよい図書館サービスを提供することが目的です。Suggestionに対する回答は図書館としてお答えします。また回答は掲示板に張り出すと共に、ホームページでも公開します。この「静脩」では、よくある質問と回答(FAQ)形式で報告します。

なお、よくある質問と回答(FAQ)はSuggestion Boxだけではなく、「京都大学学生生活白書」や総長と学生とのキャンパスミーティングでのご意見ご発言等、図書館に対して発信されたものをできる限り取り上げてお答えしたいと考えています。

今回は平成15年度「京都大学学生生活白書(別冊Ⅹ自由記述編)」での意見とキャンパスミーティングでの発言から三点に絞ってお答えします。

利用編

Q.(附属)図書館の開館時間を増やしてほしい。

A. 附属図書館では少しずつではありますが、開館日数と開館時間を増やしています。

年度	開館日数	開館時間
15年	304日	3,490時間
16年	313日	3,535時間
17年	317日	3,563時間(予定)

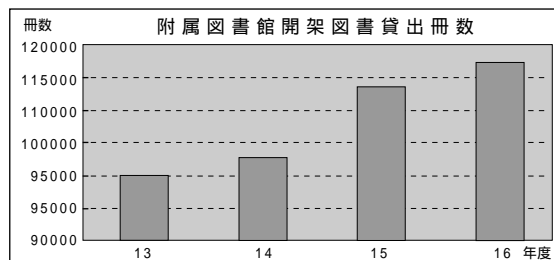
開館するためには人件費、建物の維持費(光熱水道費)等、多くの予算が必要になります。十分でない上に毎年減少する図書館の予算の中から、節約して開館時間を増加させるための費用に充てています。また、計画停電の他サービスの維持及び建物の維持のために閉館しなければならない日もありますが、今後も開館日数と開館時間を増やしていく努力を続けて行きたいと考えています。

なお、部局図書館・室の開館時間については運用主体が異なるため各館にお尋ね下さい。

資料利用編

Q.(附属)図書館で借りられる本の冊数を増やしてほしい。

A. 附属図書館の蔵書は、開架図書が学部生の学習用、書庫内図書が研究用と位置付けています。これにより、開架図書の貸出期間と冊数は2週間、5冊とし、研究が主体の大学院生の場合書庫内図書は1ヶ月、10冊と定められています。また、開架図書は昨年度は延べ約6万5千人に約12万冊を貸出しています。一人でも多くの人たちに利用して頂くためには、現状では開架図書5冊は適切な冊数と考えます。



館内設備編

Q.トイレがきたない。

A. 長年の懸案であったトイレの改修工事を夏期休暇期間中に実施しました。期間中は、騒音その他ご不便をお掛けして申し訳ありませんでした。おかげさまで1・2階部分は全面改修、洋式個室を増やして明るく快適にお使いいただけるようになりました。また、2階には多目的身障者用トイレを増設しています。3・4階は壁面など一部の改修を行いました。

附属図書館の建物は建築後20年以上になり、あちこち不都合が生じていますが、できるところから対応します。

年内には照明器具の付け替えも予定しており、その際には利用者の皆様に再びご不便をお掛けしますが、ご協力をお願い致します。